

江東区立若洲公園のリニューアルに向けた整備管理運営事業（仮称）に係る サウンディング結果について

江東区は、開園後30年以上経過し老朽化及び劣化が進んでいる江東区立若洲公園について、民間の資金及び創意工夫を活用した整備・管理運営等を行うことで、魅力向上と江東区の財政負担の軽減を図ることを目指しています。

この度は、「公募設置管理許可制度（Park-PFI）」を活用した官民連携事業に向け、サウンディング調査を実施しましたので、結果を公表します。

1. サウンディング実施概要

- ・実施要領等の公表 令和4年1月11日（火）
- ・机上説明会（WEB） 令和4年1月24日（月）
（参加者数：32者）
- ・個別対話（WEB） 令和4年3月4日（金）～令和4年3月11日（金）
（参加者数：11者（うち3者はグループ参加））

※参加者の主な業種（日本標準産業分類大分類による）：不動産業・物品賃貸業、卸売業・小売業、建設業、宿泊業・飲食サービス業、学研究・専門・技術サービス業 など

2. サウンディング結果概要

- ・既存コンテンツの拡充のほか、飲食店等の設置可能性があるが、公園全体で収益をあげる構造が望ましい。
- ・キャンプ場、イベント場としての立地は優位性がある。
- ・飲食店の独立採算化は難しい。
- ・平日や雨天時の集客改善のためには新規施設の導入が有効である。
- ・特定公園施設の民間資金単独での整備は難しく、それなりの公共負担を前提としてほしい。
- ・休日の駐車場の混雑状況を改善する必要がある。
- ・事業期間は20年が望ましい。
- ・Park-PFI と指定管理を同時に担うことによる一体的な公園運営が望ましい。

3. 今後について

短い募集期間にも関わらず、多くのご応募ありがとうございました。いただいた提案・アイデア・意見を参考に、公募条件等の検討を進めていきます。